

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ぶりす厚別				公表日	2026年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			利用人数が増えて来たため、増員募集している。(規定人数には達している。)		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		トイレ等、一部マンションの共有設備を利用しているため、清掃状況が不衛生との回答がありました。これについては、何度もピルの管理会社とやり取りしていますが、改善されません。そのため、職員が定期的に掃除をしたりもしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		年齢が高い子や、配慮が必要な子には相談室も開放して使用が出来るようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		「パートの為、あまり参加できません。」との回答がありました。今後は、パート職員にも必要な情報が共有されるよう、説明の機会を設けたり、内容を文章で残すなど、参加しやすい形で情報共有の工夫を進めていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		昨年4月に開所したため、今回初めて実施。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼や月例会議などで常時確認をしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		当事業所は昨年4月に開所したばかりであり、現時点では第三者委員会による外部評価を実施する段階には至っていません。今後、事業運営の状況を踏まえ、適切な時期に外部評価の導入を検討し、必要に応じて業務改善に活かしていきたいと考えています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4					

な 支 援 の 提 供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		「出来ている時とそうでない時がある」との回答がありました通り、打合せは必ず行うよう努めていますが、実施が不十分な場面もありました。現在は活動ごとの担当制を導入するなど、職員間での共有が確実にできるような改善を進めています。今後も、連携した支援が行えるよう体制の整備を続けていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		「出来ている時とそうでない時がある」との回答がありました。振り返りの打合せは必ず行うよう努めていますが、朝の時間が十分に取れず不十分な時期もありました。現在は朝礼での確認に加え、個別に記載した内容を共有するなど、情報共有が確実にできるような工夫をしています。今後も、職員間での振り返りが安定して行えるよう改善を続けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		「出来ている時とそうでない時がある」との回答がありましたが、当事業所では、子どもが自己選択できるよう、活動に参加しにくい場合には代替活動を用意したり、色や絵柄などを自分で選べるようにするなど、可能な範囲で選択肢を多く提示する工夫を行っています。小集団での活動のため全てを選択制にすることは難しいものの、自己決定の機会を大切にしながら支援を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		当事業所は昨年4月に開所したばかりであり、現時点では就学前に利用していた園や児童発達支援事業所等からの情報共有の要望はまだありません。ただし、必要が生じた際には、ご家庭の同意を得たうえで関係機関と連携し、相互理解に努める体制を整えています。今後も、子どもたちの支援に必要な情報共有が円滑に行えるよう、適宜連携を図っていきたくと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		当事業所は昨年4月に開所したばかりであり、現時点では卒業に伴う他事業所への移行支援の該当者はおりません。今後、移行が必要となる利用者が生じた際には、ご家庭の同意を得たうえで支援内容等の情報提供を行い、円滑な移行が図れるよう適切に対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			助言と連携あり。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		「兄弟児ならある」との回答がありました。アンケート回答時点では放課後児童クラブや他事業所との交流機会はありませんでした。年度末に他事業所と連携し、合同で体育館活動を実施しました。今後も、子どもたちが地域のこどもと関わる機会を無理のない範囲で取り入れていきたくと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		「情報提供はされている」との回答がありました。この質問に関しては、4月開所で人数も少なかったこともあり、まだ開催はしていませんが、いずれ機会を作りたくと考えています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時、丁寧に説明するように努めている。また、いつでも手に取って確認できるよう、事業所の棚に設置している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4			「兄弟はしているが、保護者は検討中である」との回答がありました。確かに、きょうだい参加が可能なイベントは実施していますが、保護者同士が交流できる場の提供については現在検討中です。今後は、参加しやすい日時や方法を考えながら、茶話会など保護者の方が交流できる機会を設けられるよう取り組んでいきたいと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情対応の体制は整備しており、子どもや保護者への周知も行っています。現時点では苦情の発生はありませんが、今後も苦情があった際には迅速かつ適切に対応できるよう、体制の維持に努めていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		連絡ツールには、LINEも使用している。また、保育園等と協力して調整をしていることも多い。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	「まだしていない」との回答がありました。が、当事業所では、子どもたちが地域の中で自然に交流できるよう、公園や公共施設、地域の店舗などを利用した外出活動を取り入れています。安全面や個人情報の観点から、地域住民を招いての大規模な行事は難しいものの、ブログやHUGアプリを通じて活動内容を発信し、地域に向けた情報提供にも努めています。今後も、子どもたちが地域社会の一員として安心して過ごせるよう、無理のない範囲で地域とのつながりを大切にしていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		服薬情報など、保護者さまより頂いています。医療的ケア児は居ないため、出来る範囲で共有することとしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事提供がないため、契約時にアレルギーの確認をするのみにとどめているが、イベントの際は参加児童へ確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		契約時に避難先や、ご家族が被災された際のイレギュラーなお迎えの方についてなどの確認もしている。また、連絡方法についても、171を使用する事などを前もってお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		今年度途中より、ジョブメドレーを使用し、各職員が隙間時間を確保して研修を実施。その他研修についても参加した者が、皆と共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	契約時に保護者へお伝えしている。身体拘束はしない前提であることから、個別支援計画上には記載しない旨も説明し、危機回避のためのやむを得ない際には、必ず連絡することも併せてお伝えしている。		